

頁	意見の対象項目	意見 及び 町の考え方
P-65	目標値の設定	<p>「町内唯一の高校である屋久島高校が維持・存続できる生徒数を毎年確保する」という目標設定がおかしい。</p> <p>●理由 屋久島高校は県立高校であり、高校統合基準は「鹿児島県にイニシアティブ」がある。往々に基準が変更される可能性があり（クラス数の増減など）、「屋久島町としての意向」が必ずしも反映されない場合がある。また現在、中学3年生を対象とした一回目の進路希望調査（7月実施？）の数値が、「募集クラス数の算定根拠」となっているが、義務教育ではない「高等学校」という性格から、こども（中3生）に「屋久島高校を第一志望にしろ」と強制することは基本的に困難である。よって、屋久島町行政としての目標とすることは避けたほうがよい。</p> <p>●改善案 「既存の小学校（数）を維持するとともに、町内の小中学校の児童・生徒数を[1学年あたり116～119名]とすること」を目標とする。</p> <p>●解説 目標設定が「屋久島町として完結」できるから。</p>
	町の考え方	<p>本町の人口目標を達成するためには、若い世代の転入増や合計特殊出生率の向上が必要になります。</p> <p>目標値の設定としては、町内の小中学校卒業生が太宗を占める屋久島高校を象徴的な存在として捉え、既存集落・小学校の維持・存続を図ります。</p> <p>また、児童に対する本町への郷土愛の醸成や高校の魅力化をとおして、本町からの転出を抑制し、鹿児島県とも連携しながら高校の存続を図っていきます。</p> <p>県立の高校統合基準は、ご指摘のとおりですが、ご意見の趣旨と人口目標の考え方は共通するものであり、原案どおりの目標設定とします。</p>
P-65	小学校の統廃合	<p>●その他の指摘事項 P-65の「二重線枠囲み」の中。③の「若年層の減少により小学校の統廃合が進むと…」、④の「…また、小学校の統廃合は町の財政状況や政策判断が影響する」とあるが、この判断をするのは「屋久島町」だ。町の方針として、「小学校の統廃合をしない」ということも目標設定になりえる。</p>
	町の考え方	<p>現状では、小学校の統廃合は考えていませんが、上記回答のとおり、目標の設定については、原案とおりとします。</p>
	町内唯一の高校	<p>* その他 「町内唯一の高校である屋久島高校」は間違い。「屋久島おおぞら高校」がある。</p>
P-65	町の考え方	<p>ご指摘のとおり、町内唯一の高校である屋久島高校を町内唯一の全日制高校である屋久島高校に修正します。</p>